

紫波ネット

Shiwa-Netzoo
「環境と福祉の町」づくり情報誌

◆特集 しわ元気はつらつ宣言

～元気はつらつ紫波計画のけん引者をご紹介～



元気人・登場！

岸 裕司さんから
学校と共有する地域づくり

無

から

作

る

6月号
NO.577

私が住む習志野市秋津という街は新興住宅地であり、紫波町のような緑はまったくありません。当然のことながら動物もいない。そこでPTA十周年記念にウサギやニワトリの飼育小屋を学校に造ることになったんです。普段は学校行事なんか参加しない父親たちが、自らの特技を使って四カ月後に造り上げました。すると一人の参加者がこういったんです。「ああ、面白かった。次は何をしようか」と。それがきっかけになって会を結成し、いろいろ造ってきました。寝ころんで本が読める「ごろごろ図書室」、井戸、最近では田んぼまで造ってもち米を収穫するまでになりました。その根底は「ないない」というのではなく、ないなら造ろう、そして「義務感——「やってあげている」というのではなく、相手のことを思いながら楽しくやる」ということです。普段は良い本の発掘と普及を行う広告制作会社の代表取締役なんですが、休日には秋津コミュニティの活動で大忙しなんです。

(五月十一日 赤石小図書室で)

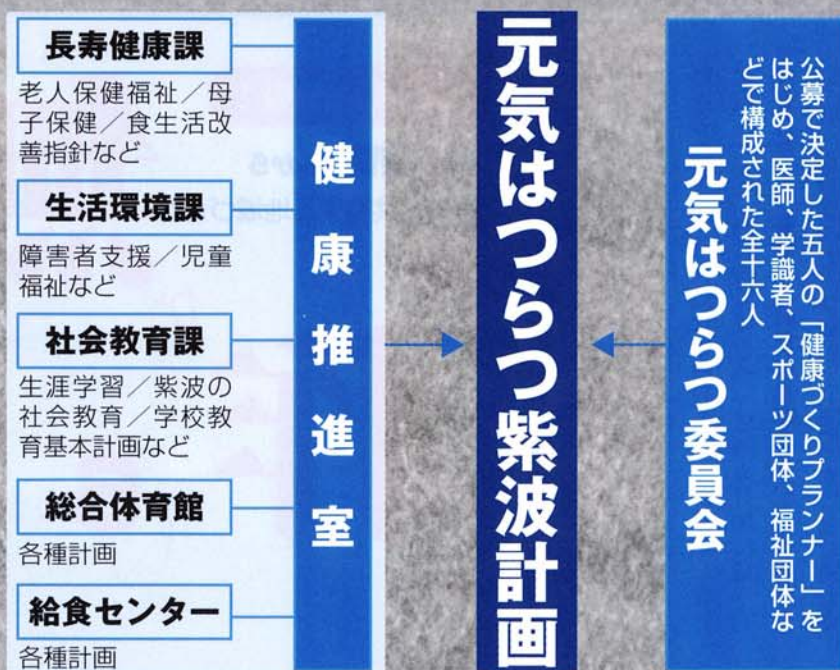
◆きし・ゆうじ 習志野市秋津コミュニティ会長、学校と地域の融合教育研究会副会長。この日は「いい本選ぶ会」の講師として、奥様と来町

いわ 元気はつらつ 宣言

町では幼児から高齢者まで健康で生きがいのあ
るまちづくりを進めるため、スポーツや保健、生
涯学習などを担当する関係課からなる健康推進室
を作り、健康づくり推進事業を今年度新たにスター
トしました。また今月下旬には学識経験者やスポー
ツ団体、公募による健康づくりプランナーなど十
六人からなる「元気はつらつ委員」の委嘱が予定
されています。今後、これら健康推進室と元気は
つらつ委員会を中心に健康づくりのための計画策
定や事業の推進が図られることになります。

町がすすめる「元気はつらつ紫波計画」

町では、今年度から始まった紫波町総合計画基本構想・基本計画に基づき、皆さ
んの健康づくりの基本になる「元気はつらつ紫波計画」を、来年3月に向けての策
定作業に入っています。これには下図のように官民一体となった策定法がとられ
ることになっています。



だれでも手軽に楽しく スポーツで健康づくり

高齢化が進む中、元気で健康に年を重ねたいと願うのはだれも同じ。そのためには普段からどんなことに心がけ、気をつけていけば良いのでしょうか。まただれにでも手軽にでき、継続できる楽しい健康法って？

スポーツを中心とした町の健康づくりのかなめとなるのが、

総合体育館。今月は総合体育館を中心に、各種スポーツ教室や健康体操の指導など、幅広い活躍をされている高橋一男さんと佐藤淳子さんのお二人をご紹介します。

町では四月から、体育施設の管理と運営を町体育協会に全面的に委託することになりましたが、その町体育協会のトレーナーとして今年一月に採用されたのが高橋一男さん。岩手県でただ一人の日本体育協会公認のアスレチックトレーナーでもあります。その豊富な経験と幅広い知識ですばらしい指導力を発揮していますが、今後は元氣はつつつ委員としても、活躍が期待されています。

また一方、佐藤淳子さんは平成六年から町の社会体育実技指導員としてスポーツの普及と健康づくりに努められ、幼児から高齢者まで幅広い世代の皆さんに親しまれ、数々の成果を残しています。

さてお二人のそれぞれの活躍を取材し、その元氣の源についてお聞きしてみました。

運動公園内の芝生で
ストレッチ運動でポ
ーズのお二人。



元氣 はつ らつ 宣言

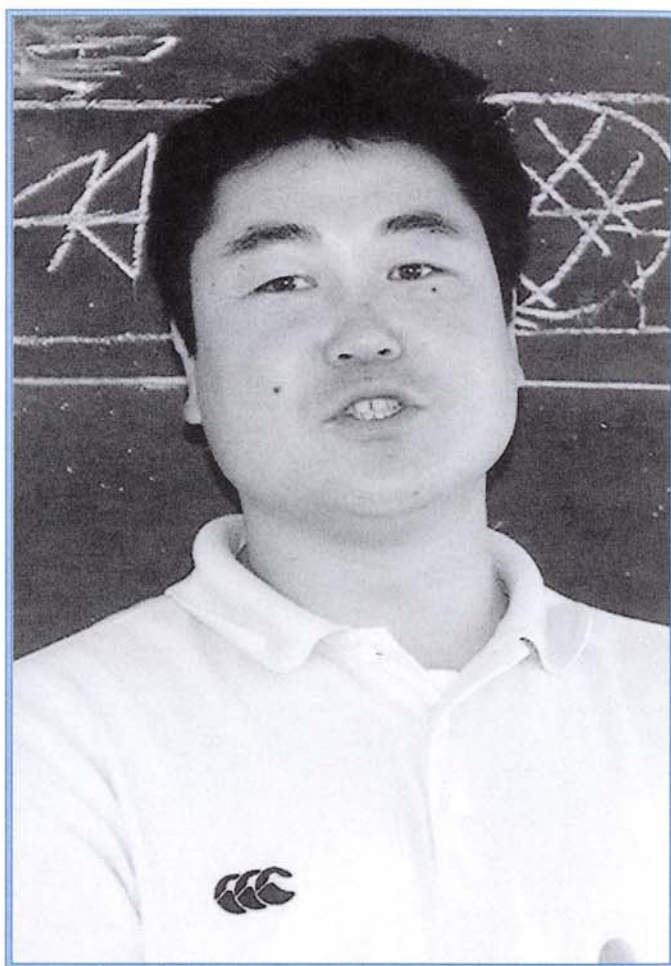
高橋さんは町
体育協会のトレ
ーナーとして四
月からさまざま
な活動をしてい
ます。

毎週定期的に行っているのが、
けやき学園に通う園生の水中運動
と初心者を対象にした柔道教室。
不定期には高齢者支援事業として
各地で行われているいこいの家で
の健康講話があります。どちら
も評判です。

高橋一男さん（たかはし・かずお） 東
北柔道専門学校卒業後、医院に勤務。昭
和六十年からは海外青年協力隊としてフ
ィリピンで柔道を指導。今年一月から教
育委員会、四月からは紫波町体育協会の
トレーナーとして勤務。柔道五段の腕前
で、岩手県内はもとより、東北新人体重
別柔道選手権大会で優勝経験も持つ。オ
リンピックソウル大会ではフィリピン柔
道チームの強化コーチも務めた。



得意分野の柔道教室で指導



高橋一男さん

（北上市・町体育協会トレーナー）

「宿題」が楽しみ？ 親子で参加の柔道教室

柔道教室では子どものほかに、付き添
いの親、お母さんも一緒に取り組んでい
るのが印象的でした。これは家でも繰り
返しやってみることが大切なので、お母
さんにも憶えてもらい、練習してもら
うようにしているとのこと。まさに親子柔
道教室。正座、柔軟体操、手足の運び、
受け身と約一時間半の練習が短く感じま
す。帰りには一人、二人と「高橋先生」
と駆け寄って来る子どもたち。宿題の確
認でした。本当に楽しみにしている様子
がうかがえます。十回コースの柔道教室

ですが、「最後には柔道着で受け身ができ
るようにさせたい」と高橋さん。

バリアフリーは運動にも けやき学園の水中運動

障害者の健康保持と増進のため、けや
き学園の園生五人を対象に、水中運動が
行われています。これは社会福祉協議会
や関連機関の協力により行われているも
ので、高橋さんは水泳協会顧問の田村晃
一さんや佐藤淳子さんとともに、運動不
足による肥満や高血圧などの問題をもつ
参加者の水中歩行やゲームなどの水中運
動の指導にあたっています。四月から来

「宿題」についての質問を受ける高橋さん。子どもにとっても楽しいひととき



年三月まで四十四回、年間を通して行わ
れる予定です。

また水中運動のほか食事指導や健康管
理といった多方面からの指導も行われ、
効果が期待されています。高橋さんは体
を動かす喜びを知り「もっとやりたい」
という気持ちになってももらえればと話し
ています。

いい笑顔が印象的だった いこいの家での健康講話

高橋さんはいこいの家で健康講話と体
操の担当として、各地を巡回する機会も
多くなっています。いこいの家は社会福



高齢者の皆さんも楽しみにしているいこいの家での健康体操指導

祉協議会が主催する高齢者福祉事業で、地区のボランティアの協力で運営され、保健婦による血圧測定や健康相談、おたのしみ会などが行われています。昨年は町内八十一カ所で活動がありました。

いこいの家は高齢者が対象なので、手指の簡単な体操や、肩のたたき方、温泉の入り方など、日ごろのケアについて、無理なくできる方法をお話ししてくれました。参加者の顔ぶれを見て運動の種類を変える工夫をしたりと、細やかな配慮も。高橋さんは「民間療法もたくさんありますので、正しい知識を持つことで、健康についての動機づけになれば」と話してくれました。

高橋さんは紫波に来て、間もないのですが、町民の健康についての意識が高いと感じたそうです。「散歩などよく歩いているかどうか?」「温泉には行くが体にいいのか?」などの質問を受けるとか。高橋さんはアスレチックトレーナーのほか、温泉利用指導者、柔道整復師など数々の資格をもち、説明にも説得力があります。また年齢に見合った運動について聞いてみました。「まず小中学生のうちは体の柔軟性が何より大切。そして生活のリズ



佐藤淳子さんとともにけやき学園の園生に水中運動の指導

ムをしっかり持つことです。専門的な技術以前に勉強やスポーツができる環境づくりが大切だと思います。これは親の責任ですね。高校くらいになったら筋力をきたえること。大人になったら自分で考えて時間と仲間を作り、目標を立てて運動を行うこと。もとを正せばすべて健康につながっているんです」と穏やかな表情で話してくれました。

また将来は紫波に行くのと体の手入れやコンディショニングの調整ができるというような、町が発信地となり、県内の人の利用が促進されるよう頑張りたいと静かに話してくれました。

元気はつらつ宣言

佐藤淳子さんは平成六年四月から町の社会体育指導員として勤務し、今年で八年目になります。総合体育館を中心とした各種教室のほか、いこいの家、公民館事業などにも出かけていますので、ご存知の人も多いでしょう。



元気ゼミナールで皆でのびのびと運動。元気な声がグラウンドに響きます

佐藤淳子さん（さとう・じゅんこ） 県立岩泉高校卒業後、働きながら玉川大学の通信教育や岩手大学の聴講生として学ぶ。昭和六十年の札幌市の卓球指導員をスタートに、指導員の世界に入る。平成元年からは岩手に戻り、盛岡市周辺の卓球指導員、生涯学習指導員などを務める。平成六年から紫波町社会体育実技指導員として勤務。圧巻はその免許・資格でNHKラジオ体操、地域スポーツ指導員（卓球）、レクコーディネーター、インディアカほかニュースポーツ各種、さらに小原流生花教授まで二十余り持っている

総合体育のスポーツ教室を中心に元気いっぱい活動

佐藤淳子さんが着任当時から担当しているのが、総合体育館で行われているスポーツ教室。中でも高齢者を対象とした元気ゼミナールと修学前の幼児と親を対象としたちびっこスポーツ教室は着任以来、ずっと指導を続けています。また五年目となる水中運動のほか、ラージボール卓球とグラウンドゴルフ教室（クラブや協議会が作られ、現在はそれぞれ独立した活動）など、さまざまな教室にかかわってきました。佐藤さんは自分の役割を町民の健康づくりの基礎部分、底辺拡

佐藤 淳子さん

（中島・教育委員会社会体育実技指導員）



大だと話します。

取材日は、佐藤さんにとって顔なじみも多い、元気ゼミナールの活動日。晴天に恵まれ、集まった受講生は六十八才から八十一才までの男女約三十人。まずは、ゆったりとした音楽に合わせ、佐藤さんが用意した練功という中国の体操で、しっかりと体を動かします。「珍しい体操ですね？」と声をかけると、「外に出られない冬の間、やり慣れた体操だけでなくと考えて、中国人の先生に習ったのがこれ。二日間みっちり勉強しました。けっこうきつかったですよ」と佐藤さん。参加者は佐藤さんの声や動きに合わせて、ゆっく

りと体を動かします。二十分くらいで参加者の額には汗が浮かんでいます。

元気ゼミナールは最初、五月から二月までの期間に開かれ、田植えや稲刈りなどの農繁期には休んでいました。しかし朝のうちに仕事をして、日中は時間が割けるといふ参加者の声で三月まで休みなく行うようになりました。こうしたことから佐藤さんはメニューをいろいろ変えるなど、随所で工夫を凝らし参加者に楽しんでもらっています。例えばその日の天候に合わせて、晴れた日は外でグラウンドゴルフなどのスポーツ、雨天や寒い冬は屋内で体操やゲーム、また季節の行事

を取り入れることもあります。何事も楽しみながら続けられることが一番と佐藤さんは快活に語ってくれました。

グラウンドゴルフのいいところは、自分の番には「お先しますよ」、相手の順番の時には「もう少し」「惜しかった」などの言葉かけが優しく、良好な仲間づくりができることだそうです。この日も最後は次回の再会を約束していました。ちなみに今回は水着を借りて水中運動とか。佐藤さんは「すでに三十人の申し込みがあるんです。今から楽しみ」と話してくれました。



総合体育館にある佐藤さんと高橋さんの席は隣同士。二人での相談がスムーズに行くようにと替えたそうです

毎年二つの資格を取る 努力家の佐藤さん

佐藤さんはとても努力家で、毎年二つの資格を取るようになっているそうですが、これもいいものを先取りして町民に伝えたいという気持ちからとのこと。

すでに十種類以上の資格を持ち、昨年はソフトダンベルとみんなの体操幹部指導者、スポーツチャンバラの三つの資格を取得しています。ソフトダンベルは高齢者のリハビリを兼ねて、自分に合ったものを手作りすることから始め、高齢者対象のいいこの家で利用しています。スポーツチャンバラは中高生社会参加活動のリーダー研修やこどもの家でもやって評判になりました。遊びでもルールを守ってやることの大切さ、友達をいたわる気持ちなどを忘れないような指導が必要だと佐藤さんは語ってくれました。そして「要請があつて、時間と体力があればどこへでも行きたい」と、とても意欲的です。

高橋さんとの 連携も良好

けやき学園の水中運動では高橋さんと一緒に指導にあたっています。常に結果を検討し、次回に向けて話し合いながら進めています。「反省することはかりですよ」と隣の机の高橋さんの同意を求める佐藤さん。明るく前向き、町の健康づくりの力強いけん引者です。

佐藤さんの明るさとバイタリティが参加者にも伝わり、なごやかなムードいっぱい



いまや、あちこちで見られるようになったIT関連の情報やグッズ。中でも、インターネットのホームページや携帯電話を端末とした情報発信は百花繚乱。町内でも多くの皆さんが、取り組んでいる新しい情報発信をご紹介します。

しわ探検団

皆さんがつくったホームページ拝見

しわ★おでんせ★もーる

元気あふれる日詰商店街へ
商店街の皆さんが立ち上がった



しわ★おでんせ★もーる <http://www.shiwanet.com/>

ホームページを開くとカラフルなショッピングモールが登場。
それぞれの店をクリックすると店内に入れます

日詰商店街に活気とふる里の良さを！ ネットが結ぶ新たな「場」が誕生

自らの夢を語ってくれた佐藤祐輔さん



町に届いた一通のメール

「紫波町インターネット商店街がまもなく産声を上げます」。こんなタイトルのメールを町に届けてくれたのは佐藤祐輔さん(日詰・サトウ時計店)。「日本全国の商店街が衰退して歴史やふる里の意識が薄れて、人間的な絆が失われていく」として、商店街が「情報の駅」になろうとすると、再生の機会があるのでは...と熱い思いが伝わっていました。

さっそく「しわ☆おでんせ☆もーる」のホームページアドレスをクリックしてみると、出た、出た、カラフルな画面。出店されているお店はまだ少しですが、それぞれおすすめの商品やメニューを紹介しています。またWeb商店街のほか、職業別電話帳、五十音別電話帳、特売情報、地域情報発信、商品検索などの掲載も現在、準備中です。

「しわ☆おでんせ☆もーる」は地域限定、ふる里にこだわって作られました。古いことは力になるという考えで「ふる里、歴史、本物」を追求する方針とのこと。日詰商店街は郡山駅という小字名でもわかるとおり、江戸の昔から「道の駅」で、北上川の河川交易の中心「川の駅」でもありました。近江商人が養蚕や酒造りなどの産業を興し南部杜氏が生まれました。これらの歴史を踏まえ、「情報の駅」を作り上げたいという考えです。

勉強会は「ホームページ開援隊」

佐藤さんが発案した「しわ☆おでんせ☆もーる」のきっかけは、「元氣な商店街を作ろう」と昨年の五月に声をかけたことから。その時

現在、佐藤さんを中心にメールのやりとりをしている会員の皆さんが、取材のために急きょ集まってくれました。皆が顔をそろえることはなかなかないということですが、こうして集まって話すことも勉強になると言ってくれました。

佐藤さんのお店もちろ
んここに登録済み。町の
話題にもふれています

目明かし平次 目次 ご利用下さい フレーム レンズ 度計社 度材社 度材社 宝飾品 パソコンソフト ふろく とらまき情報 おまけ 思い出の小冊子 おみやげ 玉手箱 目安箱 おWE、BB 贈り物探し ご注文、ご意見をどうぞ。 御用度い 5675	 銭形平次のふるさと紫波町 眼鏡屋 目明かし堂 〒028-3305 岩手県紫波郡紫波町日詰字都山駅209 有限会社サトウ時計店 E-mail meakashi@rnac.ne.jp 電話 019-676-2838 ・ Fax 019-671-1177 このホームページは【2001年05月19日】に更新しました。 [天候：晴れ]
---	--

目明かし堂 ホームページ店

【フレーム】 【レンズ】 【腕時計】 【クロック】 【宝飾】 【ソフト開発】

Sale!

項目をクリックして下さい！

- 紫波町民バンド出野コンサートのご案内(5/24) ♪
- SWW出野コンサート会場への案内
- ◎ **Me** レンズとフレームが一体づくし新し目ののがね
- ◎ かわいい腕時計です！！（・・・・・）Fレシ（・・・・・）キチー・スノーピー・マイメロなどなど）♪
- ◎ 精製品 専（・・・・・）サンダスター silhouetteと一緒にサイクリングなんてどうですか？
- ◎ ハローキティのウォッチ
- ◎ 紫波町成人式ドキュメント
- ◎ 10月8日 紫波町の景観フェスティバルが矢野田国ホールで開催されます
- ◎ 8月4日いわて・おでんせ・ももるープン・・・・目明かし堂も出展します。
- ◎ ミッケーマックスの腕時計・・・・みんなの仲間
- ◎ 紫波町の日詰産市ガストー屋
- ◎ 清原記雄「工藤先生先生の『近世の日詰商店街』」その2。 華から明治朝の日詰商店街
- ◎ Viva!同組合・・・・・紫波一中7周年 in TOKYO
- ◎ 緑蔭の花は功葉の花(5/14)
- ◎ 日詰商店街のお店紹介-原スポーツ
- ◎ 登山の夜桜見事(5/8)
- ◎ 日詰商店街のお店紹介-松本精肉店



は皆、半信半疑でしたが、その後「IT革命」という言葉があちこちで取り上げられるようになって手応えが変わってきたそうです。初めはパソコンも持っていないかったという商店街のメンバーも、今年の春から休日や閉店後に集まり勉強会を開始。佐藤さんいわく「ホームページ開援隊」ともいえる活動が続けられています。ある程度ワープロの知識があつて、ホームページ製作する上で介添えがあれば、初心者でも二時間程度でできるのではと佐藤さん。

六月初めの段階で出店しているのは七店舗、準備中の店舗も入れると二十店舗くらいまで増加する予定です。今後みんなが参加できるショッピングモールを目標に、二百店舗くらいまで店舗を増やしていきたいとか。参加料は無料。現在、町内の企業の参加を募集しています。

やる気ある参加者を募集中

華やかそうに見えるネットの世界は、実は地道な努力が必要で、本当にやる気のある仲間同士が自らの力で立ち上げようと考えています。だから「自己責任」「自己努力」「協調」が活動の基本です。

インターネットを自らの経営に活かすための研究や学びの場とする人や、すでに自店のホームページをもっている人はモールと相互リンクしたりするなど活動もさまざま。メンバーも、このチャレンジを成功させ、全国の商店街再生の道しるべになりたいと、夢は大きく膨らんでいきます。

参加を希望する人、また詳しいことは佐藤祐輔さんまでご連絡ください。

まちで見つけた ホットニュース

増田知事迎え 統一要望と視察

県への統一要望は五月二十一日、増田寛也岩手県知事を迎え行われました。町では新たな県営総合運動公園の誘致や森林資源循環推進への支援など十三項目について、直接要望を行いました。はじめに城山から県営運動公園の誘致予定地を確認し、次に町産材を利用し建設された古館子どもの家を見学するなど、現地視察も行われました。

死亡事故ゼロ 六カ月を達成

町内での交通死亡事故ゼロの期間が六カ月を達成したことから、町では出原建三岩手県警察本部長から賞賛状を贈られました。賞賛状は五月十一日、小方政司紫波警察署長の手で藤原町長に。藤原町長は「これを機に死亡事故ゼロ一年の記録を目標に、安全な町を目指し努力したい」と述べました。

読書は楽しい！ いい本選ぶ会

図書館で読む本を自分たちで選ぶという初めての企画、「いい本選ぶ会」が五月十二日、赤石小学校図書室で開催されました。親子連れなど多くの人が

県外から田植え 体験のため来町

長岡地区の会員が作るブランド米「はじめさんのお米」の消費者である大阪の主婦や関係者など十人が五月十二日、田植え体験のため町を訪問しました。これは大阪の米穀店や経済連、JAいわて中央の共催で実施されたもので、田植機に乗った参

道路愛護の山吹 会が三十本植樹

私有地を提供するなど、地元住民の協力で昨年完成した南日詰の町道中野幹線では、完成以来、地元の二十三世帯からなる道路愛護団体、山吹会（佐藤暲代表）が中心になり、草刈、側溝清掃、ペットのマナーの推進など積極的に活動してきました。五月十三日にはナナカマド三十本の植樹が行われました。

訪れ、図書室の机いっばいに並べられた図書を一冊ずつ手に取り、熱心に見入っていました。選ばれた本は四十五種類、百九十六冊にも及びます。まもなく町内の図書室にも並べられ、貸し出しされる予定ですが、「紫波ネット」でも本の紹介をしていきます。

仙台市から紫波観光に三十五人

昨年、好評を博した紫波の産直やう・フランス温泉館などの観光地をバスで見学する「紫波ツアー」が今年は五月二十二日、仙台市の主婦など三十五人が参加し行われました。今回の目玉は紫波の山菜。志和握りセンターもつすを訪れた一行は、新鮮なワラビやウドなどの山菜、シ



秋が楽しみ！子ども農業体験

志和地区の親子など約五十人が参加し、五月二十七日子ども農業体験教室が片寄で行われ、十アールほどの畑いっぱい枝豆やトウモロコシ、ジャガイモなどの苗や種が、子どもたちの手で植えられました。これは働

イタケなどを買う物がいっぱいに買い求めています。

またこの紫波ツアー



ーは今年は三回、次は秋にブドウやリンゴの収穫時期に行われる予定になっています。

勤労青少年ホームで講座開講式

勤労青少年ホームでは五月十二日、長期教養講座の開校式が開催されました。これまで各講座ごとに行っていたものを、合同で行ったものです。開校式終了後の自治会主催パーティーでは約六十人がにぎやかに交流が行われました。

勤労青少年ホームでは会員を

紫波町勤労青少年ホーム 平成13年度 長期教養講座開講式



募集しています。各種講座や交流行事も予定されています。興味のある人はぜひ申し込みください。

【問合せ】勤労青少年ホーム
電話 676-1234 有線 01-3134

くことの大切さと喜びを知ってもらおうと、文部科学省の事業として行われたもので、全国で二十カ所、東北では秋田県と岩手県が指定を受けました。JAいわて中央女性部志和支部が、志和公民館と共催で取り組むことになったものです。今後は草取りなど、全体で六回の作業が予定されていますが、収穫されたものは大槌町とのふるさと交



佐比内青年会が河川愛護で表彰

佐比内青年会（佐々木勉会長）は長年の河川愛護活動の実践が認められ、このほど日本河川協会から功労賞が贈られました。平成元年から現在まで、JAいわて中央佐比内支所から下流十



三キロにわたる彦部川の草刈りや清掃活動を定期的に実施しています。

中央駅の安全利用を呼びかけ



利用者が増加している紫波中央駅を、安全に利用してもらうため、各地区防犯協会や少年補導センター、すくすくネットワークなどの構成員により五月二十五日、紫波中央駅安全推進隊の活動が開始されました。この日は小方紫波警察署長や藤原町長も出席し、利用者に安全利用を呼びかけました。今後の活動は週二回、夕方六時から七時半までの間、交替で巡回が行われることになっています。

美味しい水使い紅茶のセミナー



パンや洋菓子づくり教室の講師として、町内でも活躍されている小野寺恵先生を講師に五月三十日、紅茶セミナーが開催されました。会場の湯楽々には約六十人が集まり、紅茶の歴史やマナー、紫波の水を使って日本人の味覚に合うおいしい紅茶の入れ方についてのお話に熱心に耳を傾けていました。



子育て支援センターでは育児相談のほか、さまざまな子育て支援活動を行っています。特に毎週木曜のすくすく広場には町内各地から多くの親子が訪れています。今年度からは、新たに誕生日前の赤ちゃんとお母さんを対象にした赤ちゃん広場を毎月第1、第3火曜に開設。6月5日の赤ちゃん広場を訪問してみました。

すくすく広場伝言板



なんてかわいい！ 赤ちゃん広場スタート

赤ちゃん広場が開かれる二十畳ほどの広さフロアーは、フローリングと畳の部分があり、思い思いに過ごしています。にぎやかな子どもたちの声が響く保育所の中で、こだけ別世界のような、静かな雰囲気の中、ゆったりと時間が流れているようです。

六月五日の赤ちゃん広場には生後二カ月から十カ月までの赤ちゃん十人とお母さんが集まりました。

活動できる」と清水先生も話してくれました。
赤ちゃん広場は毎月第1、第三火曜日、午前九時から十一時まで、古館保育所子育て支援センターで行っています。紫波ネットおしらせ版にも掲載していますので、カレンダーでご確認ください。

子育てサークル活動も開始

子育てサークルの活動も始まっています。子育てサークルは支援センターで知り合ったお母さん同士でグループを作り、それぞれに活動しています。現在三つのサークルがあり、各サークルに月一回支援センターを開放しています。またこれとは別に、独自に日を決めて城山や公園などに集合しているサークルもあるようです。新たにサークルを作りたいという人、またはどこかに入りたいという人は支援センターにご相談ください。



問合せ：紫波町子育て支援センター
TEL/FAX 671-2200
高水寺字土手六一 古館保育所内



情報



皆さんの意見お聞かせください まちづくり座談会を開催

今年度「紫波町総合計画」を策定した町では、皆さんの声をまちづくりの参考にさせていただくため、まちづくり座談会を左表の通り開催しますので、お近くの会場にお出かけください。これからのまちづくりへの提言、日ごろ感じていることなど、ぜひお聞かせください。

【問合せ】企画課企画係 1672-2111 内線322・324
有線01-8891

月 日	時 間	会 場
6月 23日(土)	午前 10:00～正午	JA いわて中央 志和支所農業会館
	午後 2:00～4:00	古館公民館
	午後 7:00～9:00	水分公民館
6月 24日(日)	午前 10:00～正午	中央公民館
	午後 2:00～4:00	赤石公民館
	午後 7:00～9:00	赤沢公民館
6月 30日(土)	午前 10:00～正午	彦部公民館
	午後 2:00～4:00	長岡公民館
	午後 7:00～9:00	佐比内公民館

寝たきりの在宅高齢者のため 訪問理容サービス開始

町では、7月1日から理容組合(52人)のご協力により、寝たきり状態で外出が困難な在宅高齢者を対象に、依頼のあった人の自宅に出向いて散髪をする、訪問理容サービスを開始します。

【対象者】町内に住む在宅・寝たきり状態の60歳以上の人(介護度が3以上の人) ※介護認定の申請をしていない人でも町が訪問調査をした結果、前記の状態に準ずると認めた場合はサービスの利用ができます。

【サービス利用日】祝日を除く月曜と第2・3火曜

【利用料金】1回につき1000円

【利用回数】平成14年3月末までに1人2回まで

【問合せ】長寿健康課長寿社会係

☎671-2327 有線01-8972

児童・生徒の 教育相談をご利用ください

教育委員会では、児童・生徒をはじめ、教育に関することでの悩み・相談に応じる教育相談事業を実施しています。いずれも経験豊富な皆さんですので、一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

◆各学校での相談

児童や生徒が様々な悩みを抱えた時、学級担任の教師への相談はもちろんのこと、そのほかに相談の窓口として、各中学校に専門の相談員をお願いしてあります。

●スクールカウンセラー

紫波一中に配置 …佐藤正恵先生(原則として金曜)

●心の教室相談員(町内各中学校に配置)

紫波一中 ……高橋廣美先生(火・水・木曜)

紫波二中 ……一方井ヨシ先生(火・金曜)

紫波三中 ……佐々木稔先生(月・水・金曜)

◆ふれあい電話相談

教育委員会では、専門の教育相談員によるふれあい電話相談を受け付けています。児童や生徒、保護者、地域の皆さんの中で、教育に関する相談をしたい時は、ふれあい電話をご利用ください。なお、教育委員会に直接おいでいただいていたの相談も行っています。

ふれあい電話 ☎672-4600

相談員 ……佐藤敏夫先生(月・水・金曜)

メールアドレス ……siwa0009@isop.ne.jp

彦部中学校史頒布のお知らせ

彦部中学校校史編纂委員会(佐藤嘉吉委員長)ではこのほど「彦部中学校史」を発行しました。

彦部中学校は昭和二十二年に新制中学校として発足し、三十五年に河東四中学が紫波第二中学校に統合されるまでの十三年間、八三四人の卒業生を送り出しています。

同校の歴史や思い出を、写真や地図、教職員や卒業生による随想、彦部中学校校舎新築工事の概要など百六十ページに及ぶ盛りだくさんのすばらしい内容になっています。

「彦部中学校史」は六



百三十部作成され、現在まだ若干の残部があります。希望する人には三千円で頒布していますので、彦部公民館までご連絡ください。
【連絡先】彦部公民館 電話 67-64670 有線01-6698



ウィーンシュューベルト 少年合唱団が交流のため来町

紫波の自然や文化にふれ、子どもたちとの交流を目的に、ウィーンシュューベルト少年合唱団が来町します。町では次のように歓迎交流会を開催します。参加は中学生以上で親子での参加も歓迎します。なお公演ではなく、あくまで交流が目的の来町です。少年団の皆さんとは英語で会話できます。

【日時】七月二十四日（火）午後六時から
【場所】ラ・フランス温泉館 交流プラザ紫波
【会費】一人千円
【申込】先着四十人 ※六月二十五日（月）まで
【問合せ】国際交流協会事務局（総務課） ☎ 672-2111 内線311、313 有線01-8932

みんなで盛り上げよう！「地産地消」 いわて紫波・食財まつり2001

県では、「地産地消」推進のため、毎月第四金曜から日曜を「いわて食財の日」として、県内各地でいろいろなイベントを開催する予定になっています。六月二十二日（金）は、そのオープニングとして、「いわて紫波・食財まつり2001」を、佐比内峠の駅をメイン会場に、町内七産直などで開催します。期間中は各産直で特売や催しが開かれますので、皆さんお出かけください。

イベント内容

六月二十二日（金）正午からオープニングセレモニー（もちもち王国紫波ひめ隊のもちつきと踊り、もちまき大会ほか）

六月二十二日（金）～二十四日（日）町内七産直と果里ん亭、ぶどうの樹、小昼ハウスで各種イベント（あづまね産直、大巻産直は二十三日と二十四日のみ）、地元食材を使用したメニューの提供

【問合せ】農林課 ☎ 672-2111 内線336 有線01-8931



来年度使用教科書の 採用対象図書を展示

平成十四年度使用教科書の採用対象図書を次のとおり展示します。会場には意見箱が設置され、皆さんからの教科書採択に関する意見を募集しています。

【期間】土・日曜をのぞく
六月二十二日（金）～七月十一日（水）、午前九時～午後五時

【場所】盛岡地区合同庁舎八階教科書センター

【問合せ】総務学事課 ☎ 672-3362 有線01-8941

トイレの水洗化を考えている皆様へ 合併処理浄化槽設置整備事業の紹介

お問合せ

下水道課 ☎ 672-2111
内線532 有線01-3061

合併処理浄化槽とは

し尿（トイレ）と生活雑排水（台所、風呂、洗面所など）を併せて処理することができ、水質汚濁を示す指標である生物化学的酸素要求量（BOD）の値を20mg/ℓ以下まで処理する能力をもった浄化槽です。この処理水質は下水処理場処理水と同等のものであり、いわば個々の家庭に設置するミニ下水処理場です。また短期間で水洗化できるのも特徴です。

合併処理浄化槽設置整備事業とは

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し生活環境の保全を図るため、新たに合併処理浄化槽を設置する人に、その費用の一部を補助するものです。

補助を受けるには

住宅の新築、改築にかかわらず新たに合併処理浄化槽を設置しようとする人です。

ただし公共下水道事業認可区域（日詰、古館、赤石の各一部）と農業集落排水事業区域（片寄、水分、彦部、長岡の各一部）は補助の対象から除かれます。補助地域かどうか

か事前に役場下水道課で確認してください。

補助金の額は

設置される浄化槽の人槽区分（処理能力）によって決まります。それぞれの槽の大きさによって決められた補助額はつぎのとおりです。これは標準的な工事費（流入・放流管、宅内工事費除く）のおおよそ4割です。

人槽区分 (処理能力)	補助金額	人槽算定方法
5人槽	375,000円	住宅延べ床面積が130㎡以下の場合
7人槽	438,000円	住宅延べ床面積が130㎡を超える場合
10人槽	555,000円	台所と浴室が2箇所以上ある場合 (2世帯住宅、大家族世帯など)

※平成13年4月からの補助額

ボーイスカウト ガールスカウト 団員募集

ボーイスカウト紫波一団、ガールスカウト岩手十一団では団員を随時募集しています。いずれも町に住む小学一年生から参加できます（活動にかかる費用などは入団の際に説明します）。集会・活動を体験したいという人はご連絡をください。また指導者も養成していますので、健康な男女の大学生や社会人も合わせて募集しています。

【問合せ】ボーイスカウト紫波一団（堀内利剛さん） ☎676-4335 / ガールスカウト岩手十一団（熊谷優子さん） ☎676-5535

日本に永住している

旧軍人軍属とその遺族の皆さんへ

国から弔慰金・見舞金が支給されます

平和条約国籍離脱者である戦没者遺族などに対する弔慰金などの支給に関する法律が施行され、ご遺族には弔慰金として二百六十万円、重度戦傷病者には見舞金および給付金として四百万円が支給されます。

【対象者】特別永住者として日本に永住している人などで①昭和十二年七月七日以後公務傷病にかかり、これにより昭和十六年十二月八日以降死亡された人のご遺族／②昭和十二年七月七日以後公務傷病にかかり、これにより重度障害の状態にある戦傷病者の人（重度戦傷病者）／③平成十三年三月三十一日以前に死亡された重度戦傷病者のご遺族（①に該当する人はのぞきます）

【期間】平成十六年三月三十一日まで

【問合せ】生活環境課 ☎672-2111
内線159 有線01-8921

アメリカシロヒトリ駆除噴霧器の貸し出しのお知らせ

【申込先】生活環境課環境保全係 ☎672-2111 内線155・156 有線01-8921

今年もアメリカシロヒトリの幼虫の発生が確認されています。地域で協力し合って駆除しましょう。地域に駆除道具がない場合、役場では動力噴霧機と手動の噴霧機の貸し出しをしますので、お知らせいたします。

●予防対策

第一段 早期に卵、巢内の幼虫を発見し、枝葉を切り取るか踏みつけるなどして早期駆除に努めましょう。薬剤による防除より効果が高く安全です。

第二段 巣から散らばり単独行動が見られる場合は、薬剤散布による防除を行ってください。

●貸出する器具

動力噴霧機が手動式噴霧機（どちらも背負い式です）。台数は動力噴霧機四台、手動式八台を用意しています。

●貸出方法

行政区または班単位として三日間を限度に貸し出し

します。

●申込方法

行政区長が、駆除希望世帯数を取りまとめ、生活環境課まで電話などでお申込みください。

（台数が少ないので申込順となります。また個人貸出は原則としてしていません）

●その他

散布する薬剤については、ディフテックス乳剤が適当と思われますが、購入者の印鑑が必要ですので、最寄の農協に相談して購入してください。

散布する時は、防護マスク・メガネ・手袋・雨合羽などを着用し、安全使用上の注意事項を厳守の上行ってください。

より深く岩手の自然・歴史・文化に親しもう 岩手県立博物館友の会会員募集

岩手県立博物館では平成十三年度の「岩手県立博物館友の会」の会員募集を行っています。会員は博物館入館料が無料になるほか、各会報の配布や催しの案内、現地見学などに参加できる特典があります。

年会費など詳しくは岩手県立博物館にお問い合わせください。

【問合せ】岩手県立博物館 ☎661-2831（友の会事務局：佐藤さん）

岩手県立生涯学習推進センター主催 成人・初心者向けパソコン講座

岩手県立生涯学習推進センターでは、成人の初心者を対象とした情報通信技術講座「IT講習会」を左表の日程で開催します。

2日間12時間で、次の内容で講習しますので、興味のある人は電話でお申し込み、お問い合わせください。

【講習内容】パソコンの基本操作／文書の作成／インターネットの利用／電子メー

ルの利用

【時間】1日目 午前10:00～午後4:30／2日目 午前9:00～午後4:30

【場所】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口）

【定員】各回18人

【受講料】無料

【問合せ・申込】岩手県立生涯学習推進センター ☎0198-27-4555

日	程
7月17日～18日	（火・水曜）
8月6日～7日	（月・火曜）
8月27日～28日	（月・火曜）
9月10日～11日	（月・火曜）
10月9日～10日	（火・水曜）
11月12日～13日	（月・火曜）
11月26日～27日	（月・火曜）
12月11日～12日	（火・水曜）
1月9日～10日	（水・木曜）
1月15日～16日	（火・水曜）

シリーズ【働く人に会う】

組みの魔術師

組みひも——それはまるでマジックを見て
いるようだった。つり下げられた糸の束を一
定の法則により、上下左右に移動しているだ
けなのに、「芸術」ともいえるひもができたが
っていく。師範の免状を持つ阿部裕子さん
(章刈) がやると、こともなげに見えるのだが、
いざ頭で再現しようとしても到底できない。
「でも一度組み上げると、もう一本やってみた
いと思うようよ」と、数え切れない弟子たち
に教えてきた阿部さんは、あつという間に一
本のひもを組み上げた。

「これは基本。あとは自分で工夫したり考
えたりして作っていくものなの」と、阿部さ
んは数多くの作品を見せてくれた。色とりど
りの作品はグラデーションあり、模様あり、
中には文字を組み上げたものまである。それ
がこんな単純な器具から生まれてくるとは…
とにかく驚きの連続だ。「いつかは個展をやっ
てみたいと思っているの」と、阿部さんは夢
を語ってくれた。そう、ぜひ実現してほしい。
そしてこの「伝統のマジック」の後継者を育
ててほしいと、心から願うほどの技術だった。



作り終えてから関係が始まる
「置職人」という仕事にふれる

町長メッセージ

「地産・地消」で元氣はつらつ

農産物に季節感がなくなってきました。店頭にはいつもたくさんのものが並び、欲しいものがいつでも買える、良き時代でもあります。

私の子どものころは、初物は笑って食べ、きゅうりなどの野菜は氏神さまにお供えしてから食べるものと、親から言われた記憶があります。いわゆる大地の恵み、産物に感謝してからいただくという意味が込められているのでしょう。

世界各国からの輸入農作物が店頭を飾っています。これらは日本の規格に合わせ、しかも鮮度を保つために大量の薬剤が投入されたものもあると聞きます。

これが健康に与える影響はどうなのか。生産者の顔が見えて、安全で安心できる、おいしいものを食する「地産・地消」がこれからのテーマであると考えます。また適期に栽培、収穫する、いわゆる「旬産・旬消」でこそ、おいしくいただけ、環境にも優しいものと考えます。まずは学校給食で実現に向け取り組みます。次に町内各組織を通じ、全町的な運動に広めてまいりたいと思います。

さて、今年度の事業として、健康づくり推進「元氣はつらつ運動」があります。この事業にはスポーツや生涯学習による心身の健康増進のほか、正しい食生活を身につけることも含まれています。循環型社会の構築と元氣はつらつ運動の展開により、健康で長寿のまちを目指していきます。

(藤原 孝)

編集後記 今月は健康づくり、スポーツを特集しました。自分のことを振り返ると、電化製品を駆使し、余った時間もひたすら体をいたわるだけ。公用自転車が役場に配置されたこの機会に、天気の良い日は自転車で軽やかに取材と行きますか。(佐藤)

【ご意見・情報は】

企画課「紫波ネット」情報係まで

【ホームページアドレス】

<http://www.town.shiwa.iwate.jp>

【メールアドレス】

info@town.shiwa.iwate.jp

【紫波ネット6月号】〈平成13年6月10日発行〉

発行◆紫波町

〒028-3390

岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1

☎672-2111

印刷／川嶋印刷株式会社